



愛知長久手ロータリークラブ

2012~2013

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=長久手市まちづくりセンター

会長 安田茂樹 幹事 小谷恒夫 会報 吉田濱一

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局

TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



奉仕を通じて 平和を



本日 第 477 回 例会 2012 年 10 月 21 日 (日 曜 日) 第 470 号

職場例会・家族日帰り旅行

モクモク手作りファーム

三重県伊賀市

<本日のプログラム>Today'sProgram

点鐘

<ロータリーソング>

前 回 第 476 例 会 2012 年 10 月 9 日 (火 曜 日) 記 録

<ロータリーソング>「我らの生業」

総合司会 伊藤広治クラブ奉仕委員長

<出席報告>

会員総数 21名 (免除会員1名)

出席者 16名 出席率 80.00% 前々回補正出席率 95.4%



海鮮丼ぶり
茶碗蒸し
赤だし
デザート

<来訪者>

・新会員 (株)ネイリックス 代表取締役 宮島 桂子様

<委嘱状授与> 愛知長久手ロータリークラブ 安田 茂樹会長

委 嘱 状

丹羽 司一殿(愛知長久手ロータリークラブ)

今般 貴殿を国際ロータリー第2760地区 2013-14年度 尾張分区ガバナー補佐に委嘱申し上げます。なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。

国際ロータリー第2760地区ガバナー

千田

ガバナーエレクト

田中 正規

2013 - 2014年度 東尾張分区ガバナー補佐

丹羽 司一さん

私が東尾張分区 ガバナー補佐の委嘱を受けましたが、これは愛知長久手ロータリークラブとして私が代理をさせていただきますが当クラブの名に恥じないよう頑張りますのでよろしくお願い致します。

2013 - 2014年度 東尾張分区 分区幹事

大島 昭夫さん

2013 - 2014年度 東尾張分区 分区副幹事

伊藤 広治さん

<入会式>

(株)ネイリックス 代表取締役

宮島 桂子様

(親睦活動委員会所属)

職業分類:ネイリスト

宮下智香子さんよりご紹介



<委員会報告>

◆ニコボックス委員会

吉田濱一親睦活動委員

- ・宮島さん入会おめでとうございます。丹羽さん卓話よろしくお願いします本日もよろしくお願いします。
- ・宮島様今後もよろしくお願いします。卓話楽しみにしております。
- ・宮島さん入会おめでとうございます。本日もよろしくお願いします。
- ・宮島さんようこそご入会していただきましてありがとうございます。丹羽さん卓話楽しみです。
- ・宮島桂子さん、今日の青空のように天高く!よろしくお願いします。丹羽司一さん卓話楽しみにしています。
- ・本日もよろしくお願い致します。
- ・宮島様ようこそお越しく下さいました。これからもよろしくお願いします。本日もよろしくお願いします。
- ・お久しぶりです。宮島さんご入会おめでとうございます。ロータリー活動頑張りましょう。
- ・宮島さん入会おめでとうございます。丹羽さん卓話よろしくお願いします。
- ・秋らしくなってきましたね。本日もよろしくお願いします。
- ・宮島様、末永く宜しく申し上げます。楽しいRCにしませう!!本日もよろしくお願いします。
- ・宮島桂子さんご入会おめでとうございます。これからもよろしくお願い致します。丹羽司一さん卓話楽しみにしております。
- ・宮島様、ようこそご入会くださいました。これからもよろしくお願いします。本日もよろしくお願いします。
- ・本日もよろしくお願いします。

安田 茂樹

赤塚 一三

伊藤 広治

大島 昭夫

加藤 猛

白石政二郎

田中 信子

丹羽 司一

日野 典子

林 正俊

宮下智香子

山田 文明

吉田 濱一

小谷 恒夫

“ Body Board 波にユラユラ 秋の海 ”

(敬称略)

◆クラブ奉仕委員会

伊藤広治委員長

- ・10月21日(日)に三重県「モクモクファーム」へ職場例会・家族日帰り旅行を計画しております。まだまだお席に余裕がありますのでご家族、ご友人お誘いあわせの上多数のご出席お願い致します。それに伴い次週【10月16日(火)振替休会】となりますのでお間違えないようお願いします。出席者の方は8:00に長久手市役所駐車場にご集合ください。
- ・10月3日(水)15:00～ 名鉄グランドホテル クラブ奉仕委員長会議出席
なぜロータリーに入ったのか、なぜ続けているのか・・・グループディスカッション
地域に関連付け継続した行事、毎回新しいアイデアをもったの活動などしているクラブの報告などがあり、それぞれがロータリーの楽しみ方、意義の見つけ方など会員の方が自ら理由づけ・見出し方法など考えていただければよいかなと思います。クラブ奉仕委員会といいつつも会員増強委員会と結びつく話かなと思いました。

◆会員増強委員会

大島昭夫委員長

- ・本日宮島さんのご入会ありがとうございます。女性の会員は大歓迎です。今年度は会員全員の方にお一人は紹介していただくよう推薦書をお配りしています。10月末を区切りにして提出していただきますようお願い致します。
- ・先ほど、丹羽司一さんから分区幹事の候補に難航しておりましたが、指名していただきましたのでお引き受けした以上は丹羽ガバナー補佐の補佐として、愛知長久手RCの代表として務めさせていただきますのでご協力よろしくお願いします。

<幹事報告>

小谷恒夫幹事

1) 役員・理事会報告

- ① 慶弔規定について…クラブよりお祝い(祝電等)(慶事はニコボックスで報告)
- ② 会計報告 …承認
- ③ 長久手アートフェスティバル… カンパ箱での協力
- ④ 職場例会・家族日帰り旅行について…案内文書送付

2) 10月14日(日)・RLI2760分科会研修パートⅡ 出席者:山田文明会長エレクト

3) 10月23日(火)(トヨタ博物館)卓話:米山奨学生 楊 麗 娟様

随行者:地区米山奨学委員会 委員 小栗正章様(名古屋和合RC)

4) クラブ事務局・長久手市まちづくりセンター利用許可書報告

2012年10月1日～2013年3月31日

<卓話> 演題 : 職業奉仕について

講師 : 地区職業奉仕委員会 委員 丹羽司一さん

職業奉仕というのは、ロータリーの根幹ともいえる理念なのですが、ではその意味を簡単に説明しろといわれると、これがなかなか難しいものです。



かくいう私も、いささか自信がないのですが、私自身の理解している範囲でお話したいと思っておりますのでしばしおつきあいください。

まず、なぜ職業奉仕が理解しにくいのかを考えてみましょう。

奉仕というと、日本人の多くがボランティア的なものを想像してしまいます。ロータリーの活動の中でも「社会奉仕」や「国際奉仕」ならば、そういう理解のままでも意味は通じるのですが、「職業奉仕」となると、そうはいきません。「職業に対するボランティア」では意味がわからないし、「職業におけるボランティア」と考えると、報酬を前提とする職業と、ボランティアとどうつながるか、訳がわからなくなってしまうというわけです。そのため、「職業奉仕」を語る時、多くの時間が、この言葉の意味や、相反するものの両立をどう理解するか、に費やされてしまうのではないのでしょうか。

そこで、少し大胆な試みではありますが、奉仕という言葉の意味を、私なりに少し捉えなおしてみたいと思います。職業奉仕は、元の英語では「ボケイショナル・サービス」です。「ボケイショナル」という「職業的な」あるいは「職業についての」という意味ですから、ほぼ日本語通りです。問題は「サービス」です。「サービス」にはもちろん「奉仕」という意味もありますが、「貢献」や「働き」、「やくにたつこと」という意味もあります。そこで、たとえば「職業奉仕」を「職業貢献」と言い直してみると、どうでしょう。少しわかりやすくなりませんか？「職業においてどう貢献するか」という意味ならば、考えを巡らしやすいのではないかと思います。実際「職業を通じた社会貢献」という言い方は、多くの企業で提唱され、耳に馴染んでいる言葉です。また、「社会奉仕」や「国際奉仕」を、それぞれ「社会貢献」、「国際貢献」と言い換えてもあまり違和感はありません。ただし「奉仕」はロータリーにとって重要なキーワードですので、その吟味にはもっと丹念な研究が必要です。

ここでは「職業奉仕」の理解を広めるために一つの提案として、紹介させていただきました。

さて、言葉の解釈はこれくらいにして、次は「職業奉仕」の中身についてお話をさせていただきます。

「職業奉仕」には2つの大きな奉仕理念があります。ひとつは、アーサー・フレデリック・シュeldonが1911年に提唱した「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というもの。もう一つは、同年にベンジャミン・フランク・コリンズが提唱した「無私の奉仕」でこれは後年「超我の奉仕」と修正されました。英語では「Service not self」から「Service above self」へと改められました。この2つの理念が意味することは、「我欲を押さえて奉仕の気持ちで仕事に取り組めば、結果と仕事とは成功する」ということです。逆に言えば「我欲に走って奉仕の気持ちを失えば、仕事は成功しない」と言うこととなります。この件に関しては、職業奉仕の第一人者であるパストガバナーの深川純一先生が、「ライオンと猫の喧嘩」という面白い事例をあげて見えましたので、紹介しましょう。

まずはライオンのお話から。かつて三越は、百貨店業界を代表する超優良ブランドでした。三越は本店の正面玄関に鎮座する二頭のライオンのごとく、王者として君臨していました。それは、前進の越後屋から連なる、300年を超える歴史の中で、絶大な信頼を築いてきたからです。「三越で買ったものならば、良いものに間違いなし」という評価が定まっていたのです。では、そのライオンに挑んだ猫はというと、クロネコヤマトのヤマト運輸です。当時、三越の配送を一手に引き受け、それがヤマト運輸の重要な収入源になっていたのですが、それをいいことに、三越側は社員の出向や店内事務所の経費までも、ヤマト運輸に要求しました。こうした、誠意のない、また公正でない取引に反旗を翻し、ヤマト運輸は三越に絶縁状をたたきつけました。これを、当時の新聞が「猫がライオンに噛み付いた」と伝えたのです。大正8年にトラック4台から始めたヤマト運輸でしたが、三越から安定した収入を失うことよりも、正当な取引を貫くことを選んだわけです。その後、ヤマト運輸は宅急便という個人向けの配送の分野を開拓することに成功し、今では250億を超える利益を上げる大企業へと成長しました。一方、三越はというと、昭和57年に「古代ペルシャ秘宝展事件」が起こります。当時岡田社長と親密な関係にあった古美術商が、なんと偽物を作らせていたことが判明します。さらに岡田社長と、関係深い謎の女帝と呼ばれた武久道による会社の私物化が表面化し、社長解任というスキャンダルに至ります。また当時、三越では社員に対して、自社商品の強制的な買取もさせていたことも伝えられています。そうした積み重ねによって、三越の信用はがた落ちし、顧客も他の百貨店へと流れてしまいました。シュeldonの教えを真逆に実践し、顧客に対しても、取引先に対しても、社員に対しても、不誠実な取り組みをしていた三越に対し、別の意味で報いが与えられてというわけです。

この事例から我々が学ぶことは、職業奉仕の実践こそ、事業繁栄につながるのだということです。ではどう実践していくか。それを説いたのがハーバード・J・テラーの「四つのテスト」です。

「真実かどうか」「みんなに公平か」「好意と友情を深めるか」「みんなのためになるかどうか」

これらの基準を、製造においても、セールスにおいても、取引においても、さらには人事や社員教育、福利厚生など社内においても、自ら尋ね直し、行動を律することが職業奉仕の実践につながるのです。

と偉そうなことを言いましたが、この実践というのが、口で言うほど簡単ではない。人間はどうしても楽な道を選びがちなんです。感情に任せて部下を叱ったり、無理な予算で仕事を頼んでしまったり。時には、こずるいいことを考えてしまったり、情けない話ですが…。しかし、だからこそ、ロータリーで自分を鼓舞するんです。こうして例会に出席し、皆さんと顔を合わせることで「自分もやらないきゃ」と再確認できる。

「職業奉仕は例会出席に始まる」という言葉は、そういう意味も含んでいるのではないのでしょうか。今後もロータリー同士で意識を高め合い、職業奉仕の実践に努めてまいりましょう。ご清聴、ありがとうございました。

10月28日(日)	11月6日(火)	11月11日(日)	11月20日(火)
10月30日(火)振替 地区大会 (ナゴヤキャッスル)	卓話:地区R財団委員会 講師:桜井 繁様 (トヨタ博物館)	11月13日(火)振替 長久手市民祭り (長久手市役所)	親睦夜間例会 19:00~ (梅の花栄店)